



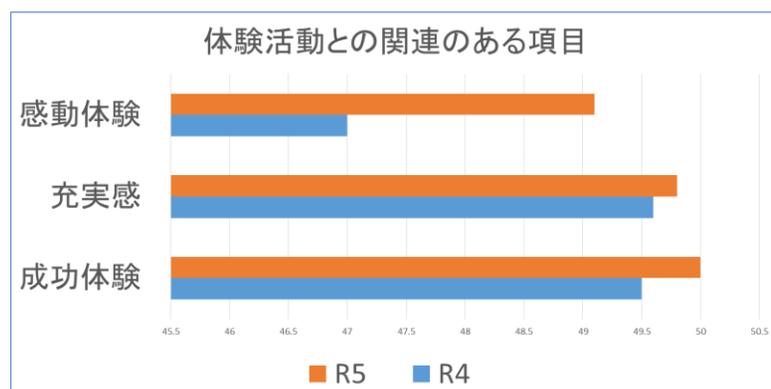
南風

牛深東小だより
2024年2月22日（木）
NO11 文責 原田琢二

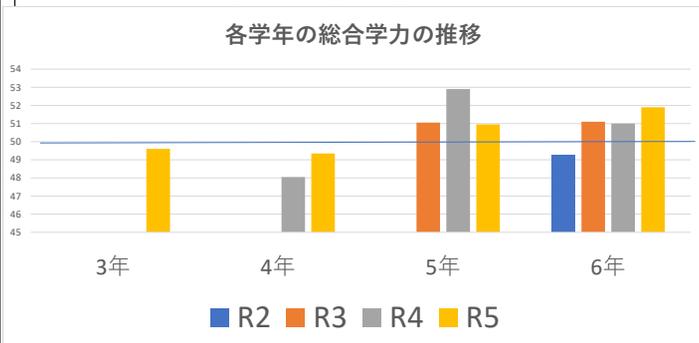
児童の成長と地域力

桃の花も咲き始め、春の訪れを肌で感じるこの頃です。今年度も残りわずかとなり1年間を振り返る時期に差し掛かりました。この1年の様々な地域学習の豊かな体験活動は子供たちの心にどのような成長を促したのか、気になるところです。先日、熊本県学力・学習状況調査の結果が公表され、子供たちがどのような意識を持っているのか質問紙による意識調査の結果を知ることができました。下のグラフは令和4年度から令和5年度へかけて経年比較して心理的变化がどのように起きているのかを見たものです。感動体験、充実感、成功体験の数値が全体的に向上していることがわかります。特に感動体験は大きく数値が伸びていました。

これは正に地域力だと感じています。各学年実感を持った体験活動は、子供たちに感動や充実感を与え、生きる力の基を育ててくれていると考えています。



熊本県学力・学習状況調査の結果から



左は本校の学力の推移を経年比較したグラフです。50が標準偏差になります。各学年の最も右側の値が令和5年度を表しています。それぞれ学びの成果が感じられる結果でした。現在、それぞれの課題に合わせた個別の指導を継続中です。ご家庭でも各個人で結果を基にした取組をお願いします。

第2回学校運営協議会の開催

2月7日に今年度の総括としての第2回学校運営協議会を開催いたしました。児童・生徒代表で小学校からは運営委員が、中学校からは生徒会の皆さんが参加し、それぞれの取組を発表してくれました。後半は協議会の皆さんと子供たちも一緒に1年間の成果と課題を話し合い、課題を共有することができました。その中で、小中で取り組んでいる挨拶を活性化させる取組について委員の皆さんから「させられて取り組んでいるのではなく自主的な取り組みが見られる。」「地域にも働きかけることが必要ではないか。」などご意見をいただきました。また、別の視点から、子供の居場所づくりに関してのご意見や、学校防災に関して、能登半島地震の教訓からのご意見をいただきました。

次年度の教育活動の参考にさせていただきたいと思っております。

学校教育評価について

下は前期評価と後期評価を比較してあります。教育環境整備は向上、家庭学習に関しては若干低くなっていました。また、挨拶や規範意識に関しては今後も課題として捉えていきます。

※後日学校ホームページに詳細を公表いたします。

